

第1分科会-①

種子島地区介護支援専門員の資質向上に向けて

離島

種子島支部研修

指導者間ネットワーク

鹿児島県

研修の企画・実施に携わって感じたこと

職能団体・鹿児島県介護支援専門員協議会種子島支部

研修担当：酒井 和代

鮫島 寛大

真田 美津代

E-mail : naka-hokatu@town.nakatane.kagoshima.jp Fax 0997-27-1086

施設またはサービスの概要

種子島は鹿児島県本土の南に位置する1市2町からなる細長い島である。種子島支部協議会は平成12年に発足。支部会員は、現在、西之表市35名・中種子町19名・南種子町16名。（居宅介護支援事業所16カ所・介護保険施設6カ所・地域密着型施設5カ所）である。

<取り組んだ課題>

- 離島のため移動手段は船か飛行機であり、移動時間や旅費が必要である。そのため、島外の研修の参加は制約される。
- 島内にある居宅介護支援事業所は一人もしくは二人体制がほとんどで、事業所内における自主研修や島外研修を受ける機会も制約される。

<具体的な取り組み>

種子島支部研修は、会員全体を対象とし、資質の向上を目的として年3回程度開催している。講師は、島内・島外・会員・行政関係者に依頼しており、主に研修担当により企画、運営されている。

【平成20年度】

第1回

医療制度（後期高齢者医療制度）について
講師【行政】西之表保健所長
制度改正に伴い、先の見えない医療制度の仕組みについて、ケアマネの視点で講演を開催する。

第2回

介護サービス計画書におけるアセスメントの手法と課題・検討表の活用について
講師【島外】鹿児島県指導者。【会員】種子島支部指導者はグループワークの補助講師として参加。

会員の事例を通して「Aさんらしさ」「自立とは何がどうなることか」について、施設と居宅に分かれグループワークを行う。

第3回

すぐに役立つ床ずれ予防のポイント・状態別の移動用福祉用具（歩行器・車椅子）について
講師【島外】福祉用具事業所

床ずれ予防の概念から、効果的な除圧、ポジショニング等の実技を受ける。移動用福祉用具は、移動支援のポイントを押さえながら安全かつ実用的な選定について、実際に体験しながら学ぶ。

『平成21年度』

第1回

- 日常のストレスをリフレッシュ！疲れた体を癒す
講師【島内】健康運動指導士
- 報酬改正に伴う加算「ドウショール討論会」
グループ討議に於いて、お互いの加算状況や、疑問点を出し合う。

第2回

成年後見制度について

講師【島外】リーガルサポート会員

第3回

①障害者自立支援の活動について

講師【会員】障害者児施設副園長

②認知症ケアを通して“尊厳とは” “その人らしさとは”を考える：ビデオ視聴

<活動の成果と評価>

種子島支部の研修担当を2年間担当する中で、島内においても限られた研修の機会を有効に活用し、参加しやすい場の提供に努めた。また、研修担当として、会員が求める内容の把握に努め、会員同士が課題を出し合えるよう心がけた。

島内の材人材活用として、平成18年度から開始された鹿児島県指導者研修の受講者に講師を依頼し、今まで学んだことを還元する役割として活動してもらい、また、指導者間のネットワークを活用して講師を頼みやすい関係づくりが出来た。

<今後の課題>

IT等活用でタイムリーな情報収集は可能になってきているが、課題に気付かないまま経過してしまうことが多い。今後、支部会員が抱える課題を会員同士で意見交換する場を提供すると共に、さらに研修企画運営を担当する者と地域の人材や主任ケアマネや指導者等との連携を密に図り、会員が自主的に研修を受けられる体制作りが求められる。